

阿弥陀仏の真実信心は環境に影響されません

親鸞聖人の書かれた現世利益和讃げんぜりやくわさんという十五首の歌があります。十四首目に「無碍光仏(阿弥陀仏の別名)の光には、無数の阿弥陀仏がおられて、すべての化身が真実信心を護って下さいます」とあります。

信心を護るとはどういうことでしょうか。私が作った信じる心(信心)というのは、時代や環境に影響し裏切られます。戦前の思想や原発の安全神話や吉田証言などです。「信じていたのに裏切られた」ということが信心崩壊です。それでは絶対信心にはなりません。

浄土真宗は、阿弥陀仏が阿弥陀仏の絶対信心を私達に与えて下さるから救われるといます。私が環境の変化によって仏教からキリスト教やイスラム教などに改宗したとしても、阿弥陀仏の信心を妨げることはできないのです。そしてもし、イスラム教やキリスト教などに否応なく改宗したとしても、阿弥陀仏は裏切り者とは言わずに、絶対救済されるのです。

親鸞聖人は、「絶対真理の法が、私達を覚らせようと仏教や阿弥陀仏の教えや儒教や神道、イスラム教や全ての宗教に変化して顕れて下さっているのだ。これを絶対他力の救済」と言われました。阿弥陀仏にとっては人間の行為に左右されない信心を私達に与えて下さっているのです。しかし、人間が我欲の目で阿弥陀仏の教えや宗教を自分達の都合のいいように解釈して政治利用するから対立がうまれるのです。もしイスラム国などが日本を占領した時は、対立せずにイスラム教などに改宗して長生きして下さい。それが念仏の行者の修行です。

決して阿弥陀仏を裏切ったことにはなりません。私を絶対救って下さる大きなはたらきなのです。合掌

写真は八瀬赦免地踊り

